ミュージカル 本田宗一郎物語

大阪公演

I have a dream

夢 挑戦 実現

ミュージカル「本田宗一郎物語」大阪公演に感謝して

本田 さち

この度、亡き夫本田宗一郎がひとづくりに夢を抱いてホンダテクニカルカレッジ関西校を設立した地、大阪においてミュージカル「本田宗一郎物語」が公演されましたことは大変嬉しく、公演に携わっていただいた方々に心から厚くお礼申し上げます。

本田宗一郎は、明治39年11月17日に旧磐田郡光明村に生まれ天竜の美しい豊かな自然の恵みと両親や地域の皆様方の温かい人情に育まれ、自分の好きなものづくりの道を目指して天竜から東京へ巣立ちました。その後も幾多の困難に遭遇しましたが常に大きな夢を抱いて、その実現を喜びとして生きてきました。その間、陰に陽にご指導・ご鞭撻を賜りました多くの方々のお陰で、ホンダという世界企業の礎となることができました。

ミュージカル「本田宗一郎物語」は、好奇心の強かった宗一郎の少年時代の数あるエピソードを基に、両親と離れ東京へ旅立つところまでをミュージカルとして創作されています。そのいくつか場面で、常に夢を抱くことの素晴らしさ、故郷や家族のありがたさ、ものづくりの大切さを感じとることができます。

今回の大阪公演の開催につきましては、別府公演、埼玉公演をご覧になった皆様や出演してくれた子どもさんたちから、感動・感謝のお手紙をたくさんいただきましたのでさらに、ホンダテクニカルカレッジ関西の学生さんや大阪に育つ将来を担う多くの皆さんなどもっと多くの人にご覧いただきたいとの思いから実現することになりました。

大阪公演の様子を津田から報告を受け「子どもさんたちは演技力・表現力・歌唱力も増し、舞台では心を一つにして頑張りとても輝いていた。」と聞いて嬉しく思いました。これからも、子どもさんたちの心の中に本田宗一郎が生き続け、それぞれの夢の実現に向かう子どもさんたちの心にエネルギーを与えることができれば幸いです。

最後に、今回大阪公演でご尽力をいただきました学校法人ホンダ学園、NPO法人本田宗一郎夢未来想造倶楽部、「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会、運営スタッフの皆々様に重ねて感謝を申し上げます。

末筆乍ら、この記をおかりしてすべての皆々様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

「試す人になれ」母校光明小学校の創立 100 周年に生徒にメッセージ送る。

CONTENTS

ごあいさつ …… 04
大阪公演　公演プログラム …… 07
コンテンポラリーダンス …… 08
ミュージカル …… 09
エピソード …… 11
学校法人 ホンダ学園視察 …… 12
大阪公演写真 …… 14
出演者寄せ書き …… 21
感想文・さちさんへの手紙 …… 26
本田宗一郎ゆかりの地 …… 32
本田宗一郎年譜 …… 33
ミュージカル「本田宗一郎物語」楽曲 …… 35
やらまいか …… 40
編集後記 …… 45

本田宗一郎生誕 100 年記念大阪公演を振り返って

NPO 法人本田宗一郎夢未来想造倶楽部　大橋 武司

平成 18 年 11 月、本田宗一郎さんの生誕 100 年をお祝いし、生誕の地浜松市天竜では、地域の人々の手によって様々な記念行事が行われました。中でも子どもたちが中心となって上演したミュージカル「本田宗一郎物語」とコンテンポラリーダンスは多くの人々に大きな感動を与えました。

その折、ご臨席いただいた奥様の本田さちさんもこのミュージカルに大変感動され、「是非もっと多くの人々に見ていただきたい」とおっしゃり、平成 19 年 7 月にホンダ太陽ご協力をいただき別府公演が実現し、続いて平成 20 年 9 月にホンダ学園関東校のご協力をいただいて川越市で埼玉公演が行われ、さらに平成 21 年 8 月に大阪狭山市において大阪公演を実施しました。出演した子どもたちは勿論、スタッフ一同もこうした機会を与えてくれたことに深く感謝し、これらの公演に全力で取り組んできました。

狭山市での公演では、ホンダ学園関西校の皆さんを始め近隣の小学生、地域の多くの皆さんから好評をいただき、改めて本田宗一郎さんの強烈な生き方や素晴らしい人となりを感得していただくことが出来たと確信しました。特にホンダ学園関西校では、丁度新型インフルエンザの流行で多数の学生が欠席しているという苦しい状況でしたが最大限のご支援をいただきました。

そして、本田さちさんは、今回もこの記念事業を末永く子どもたちの心に刻んでおきたいと考えられ、本事業の記録をアルバムとして残すよう提案され、ここにこのような立派な記念誌が完成いたしました。

このアルバムは今回の公演に携わった子どもたちの心に素晴らしい思い出として残り、本田宗一郎さんの考え方や生き方からの教えとともに活き続けることと思います。

本田さちさん始め、ご協力いただいたホンダ学園関西校の皆さん、狭山市の皆さん、子どもたちとともに活動していただいたスタッフの皆さん、応援していただいた保護者の皆さんに心からお礼申し上げます。

“本田宗一郎物語 大阪公演” を振り返って

学校法人ホンダ学園 ホンダテクニカルカレッジ関西 校長　村上　洋

まだ残暑の残る 8 月末　折りしも新型インフルエンザが流行し　本校でも一部学年が休校の最中　“本田宗一郎物語大阪公演” が計画され　開催を迷った時もありましたが、公演を見終わった近隣の方々、本校の学生達の満足した顔を見て“決行してよかった !” と言う充実感とミュージカルを演じてくれた子供たち、それを支えてくれた天竜の方々の“本田宗一郎” に対する熱い思いを目の当たりにし　胸が熱くなったのを昨日のことのように思いだします。

世の中　少子化で大学全入時代と言われ　各専門学校が生き残りをかけ個性、特徴をだそうとしている中　関西校では　創設者である本田宗一郎が定めた“人に愛され信頼される技術者の育成” と言う“建学の精神” に立ち返り　これをまじめに実践すると共に　“Power　of　Dreams”、“好きなことを一生懸命取り組む姿勢” を柱に差別化しようと心がけて取り組んでいます。

ミュージカルの中で幼少の宗一郎が常識にとらわれず、興味をもった様々なことに一生懸命取り組む姿勢と、なにより演じてくれた天竜の子供達の“人間、宗一郎” を心をこめて演ずる姿勢が　学校の授業では伝えられない、ややもするとホンダの人間でも忘れがちな“やらまいか魂”、“Power　of　Dreams”、“熱い思いが人の心を動かす”ことの大切さ、すばらしさを学生達に伝えてくれたと思っています。

最後になりましたが　この大阪公演を開催するに当たり　協力してくださったすべての方々、そしてこの様な機会を与えてくださった本田さち様に心からお礼申し上げます。

進化し続ける 宗一郎物語

芹沢 文子

今年も「夢の舞台」が大阪狭山市で開催できる！この驚きと感謝の気持ちをどう表現すればよいのでしょうか。

私は幾つもの小さな劇団が１つの芝居の公演をするために、どれ程大変な思いをしているか知っています。役者が舞台制作からチケットの販売まで手掛け、やっと100人キャパの客席がうまるのです。それに比べ私たちのなんと幸せな事か!! それもひとえに本田さちさんの「宗一郎物語」への深い御理解と地元の子ども達へのあふれる愛情に支えられての事であると、ありがたい思いでいっぱいです。私に少しでもお返しできる事があるとするなら、ミュージカルの稽古を通じて宗一郎の精神を伝える事と、「宗一郎物語」を常に進化させ、皆様に楽しんでご覧いただく事しかありません。

今回は「ホンダ学園」関西校の御協力のもと、学生さん達や、地元の小学生にも観ていただけた事は、私にとって大きな喜びでした。当日はインフルエンザ予防のため客席が全員マスク姿という光景で、出演者は客席の反応がつかみにくく、なかなか苦労していたようでした。でもそんな事でひるんでいたら「やらまいか魂」を受け継ぐ天竜っ子の名がすたる！急な演出変更にも迷いなく対応できる適応力や判断力が出演者にしっかり身についてきたようで、「凄い！みんな進化している！」と頼もしくもあり、眩しくもありました。

豊かな時代に育ってきた私も含め今の子ども達は、宗一郎を動かしてきた貪欲なハングリー精神はなかなか持てません。今の子ども達の心を突き動かすファクターは「憧れ」にあると思います。「うっそー」とか「ヤバイ！」とかで表現される宗一郎の強烈な生き方に子ども達は「憧れ」ます。失敗することを恐れ小さく賢くまとまってしまいそうな自分に「まず、やってみろよ！」と憧れの宗一郎はエールを送ってくれます。

天竜という過疎化が進む地域の中にあって、ともすると文化的にとり残されてしまいそうな子ども達が、この機会に恵まれたことでミュージカルを体感し、物語の中の宗一郎スピリッツに心揺さぶられる。なんて素敵なことでしょう！不安定で夢を持ち続けるのが困難な時代の中でも、「宗一郎物語」を演じた子ども達が、また観てくれた子ども達が「夢の力」を信じ、未来を切り開いてくれることを願っています。

最後になりましたが、今回の公演開催にあたり、御尽力下さいました津田様、ホンダ学園関西校の皆様、大橋理事長をはじめとするNPO法人の皆様、笹竹プロデューサーと壬生ホールの皆様、制作スタッフの皆様、そして保護者の皆様に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

平成21年8月29日（土）

午前の部／ 開場10時30分　開演11時00分
午後の部／ 開場14時00分　開演14時30分

会場／大阪狭山市文化会館（SAYAKAホール）
大阪市大阪狭山市狭山1丁目875–1

公演プログラム（午前・午後共通）

1 NPO 法人 本田宗一郎夢未来想造倶楽部 理事長あいさつ
2 コンテンポラリーダンス「龍水の都」
3 本田宗一郎の軌跡（映像により紹介）
4 ミュージカル「本田宗一郎物語」

主催 / NPO 法人 本田宗一郎夢未来想造倶楽部
「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会
協力 / 学校法人 ホンダ学園
制作 /（株）日本シアタサービス（JTS）

スタッフ

◆コンテンポラリーダンス「龍水の都」
ダンス指導　太田　良子　　作曲・編曲　山本　裕治

◆ミュージカル「本田宗一郎物語」
脚本・演出・演技・歌唱指導・振付け　芹沢　文子
歌唱指導　関　　彰子　　作曲・編曲　山本　裕治
舞台監督　酒匂　正博

◆企　　画　浜松市天竜区 区振興課

◆司　　会　寺田　亜矢子

コンテンポラリーダンス「龍水の都」

～天竜川の雄大さを、ダンスで織りなす～

静岡県浜松市を流れる「天竜川」は、豊かな自然と水の流れにより流域住民の文化交流の橋渡しとしていつの時代も大きく関わってきました。コンテンポラリーダンス「龍水の都」は、人々の暮らしと文化を支えている「天竜川」の雄大さと自然のイメージをオリジナル曲の演奏とダンスで表現しました。

曲名は、「水の旅」、「水しぶき」、「龍水の都」の3曲で、山に降った雨が源流を旅立ち幾筋もの渓流を集め、時には激しく、時には穏やかに南北に流れる「天竜川」を表現しました。

キャスト

加藤友茉　川坂　萌　澤口奈々　鈴木彩音　池田なつみ
遠藤愛理　吉林摩耶　岡部美里　市川紗妃　吉林和瑚
大地ゆう子　大石のどか　中村梓紗　松井襟奈　山下紗奈
小林乃絵　志津晏奈　平出美駒　松山　舞　原田七海
細井祐子

演　奏

松井みか　金子鉄心　山本裕治　笹竹和行

REVIEW
「天竜川」の雄大さと美しさが、曲と踊りで表現されていました。

穏やかな流れの中 山の木々を潤す

本流へ混りゆく

長い旅の始まり

岩にぶつかり水しぶきを上げる

激しく躍動する

渦巻く川の淵

ミュージカル「本田宗一郎物語」

～本田宗一郎が、いま心の故郷によみがえる～

平成18年11月17日に、郷土の偉人本田宗一郎は生誕100年を迎えました。本田宗一郎のなりふり構わず、ひたむきに努力する姿、目標を見失わない強い精神や親子のあり方にスポットを当て、浜松市天竜に生まれ15歳まで過ごした宗一郎の少年時代の実話をもとに、創作したミュージカルです。

ミュージカル「本田宗一郎物語」は、何事にもあきらめないで挑戦する宗一郎の「やらまいか！」の精神を、少年時代のエピソードから伝え、夢の実現に向けてエネルギーを与えてくれる作品でした。

キャスト

北内一圭	山田歩	大角真名人	平賀建渡	佐藤希望
光岡来未菜	大楽咲子	金田彩	小倉麻琴	櫻井優珠
田中香那	安間穂乃佳	岡みちる	鈴木杏理	西田愛
光岡香菜子	大石愛	山田愛	北内花実	三室輝佳
川村美帆	大澤恵美	鈴木裕子	寺田亜矢子	村井教子
山田美由貴	今田史隆	黄楊直彦	生田奈未季	梅林佳美
長谷川未来				

コンテンポラリーダンサー

REVIEW

次世代を担う子供たちが「夢」、「希望」を抱き、また、「親子の絆」についても考えさせられるミュージカルでした。

夢を語る故郷の子どもたちを嬉しそうに見守る宗一郎

袴には「H」の文字、鼓はふろおけ、ユーモアも宗一郎物語には欠かせません

ハンコ偽造がバレて先生から大目玉！お尻たたきの罰

父と母の大きな愛と信頼が宗一郎の心を育てる

自動車を作る夢、今、確かなものに

旅立ちは寂しいけれど希望に満ちて

大阪公演

8月29日(土)

ミュージカル「本田宗一郎物語」ができるまでのエピソード

今回、ミュージカル「本田宗一郎物語」の台本制作にあたり正直、「とんでもないものを引き受けてしまった」という思いでした。

ミュージカルの作品の多くはファンタジーであり実在の人物を描いたものはあまり例はないということ、「宗一郎」は郷土の偉人であり顕彰会の皆様をはじめファンが多く、そんな皆様に満足していただけるものが、はたして書けるだろうかということ、「世界のホンダ」の礎を築いた「宗一郎」をミュージカルにしてしまってよいものだろうかということ、等々不安だらけのスタートでした。

しかし、「宗一郎」について書かれた数多くの本や、ご本人の著書などを読み、人間「宗一郎」を探っているうちにその魅力溢れる人間性や、ものづくりへのこだわりやエネルギーを一人の大人として子どもたちに伝えなければいけないという使命感にも似た衝動がおこってきました。

ミュージカルでは歌や踊りの技術はもちろん必要です。でも稽古の中ではどれだけ真剣に取り組むかということの方がもっと大切です。出演者は１つの作品を創り上げていく１つのチームです。一人一人が高い意識を持って稽古に参加しなければ良いチームにはなれません。出番の多い少ないは関係ありません。そこをわかってもらう事が稽古の柱となります。そしてセリフの１つ１つ、歌詞の１つ１つ、音楽の１フレーズ１フレーズを感じ演じ歌う事で「宗一郎」を表現し、初めて１つの作品になり、観ている方に伝わるということ。

天竜っ子たちは素直で感受性も豊かであり、芝居の経験のほとんどない子たちが稽古が進む中で成長していく姿は、私の喜びでした。

また、稽古を続けていくうちに、受け身で取り組むだけでなく、積極的に発言し自分たちの作品を創っていくんだという意識が芽生えてきました。「ここはこうした方がおもしろい」など子どもたちの中から生まれたアイデアは大切にして、演出に活かしていきました。こうして徐々に「チーム宗一郎」は走り出しました。

紙の上に書かれた文字に素敵な音楽がついて、演じ・歌い・踊りながら立体的に立ち上がっていく瞬間は本当にワクワクします。

「宗一郎」と「ミュージカル」という遠く離れたもののように感じられたものが、出演者やスタッフによって１つになった時、ミュージカル「本田宗一郎」が誕生しました。

芹沢　文子

学校法人 ホンダ学園視察

8月28日㈮

ホンダテクニカルカレッジ関西

学校法人 ホンダ学園視察

8月28日(金)

大阪公演（視察）　8月27日(木)

針テラス

海　遊　館

大阪ワールドトレードセンタービル 48 階　ワールドビュッフェ

大阪公演（リハーサル）　8月28日㈮

大阪公演（本番）　8月29日(土)

大阪公演（お楽しみ会）　8月29日(土)

大阪公演（お楽しみ会）　8月29日(土)

大阪公演（お楽しみ会）　8月29日(土)

大阪公演（鈴鹿サーキット） 8月30日(日)

コンテンポラリーダンス出演者

とても思い出になりました。ありがとうございます。
ダンス最高！！

小林　乃絵　（光明小学校５年）

大阪公演とても楽しかったです。思い出になりました。

松山　舞　（光明小学校５年）

すてきな思い出ができました。ありがとうございました。

大石のどか　（熊小学校４年）

「ゆう水の都」を初めておどってむずかしかったけどたくさん練習しておどれるようになってよかったです。楽しかったです

松井　襟奈　（二俣小学校４年）

[illegible]ありがとう。

吉林　和瑚　（二俣小学校５年）

大阪公演はとても楽しかったです。ありがとうございました。

中村　梓紗　（熊小学校４年）

大阪公演のことは[illegible]楽しかった。ありがとうございました

岡部　美里　（光明小学校５年）

とても思い出になりました。少しダンスに自信がつきました。

志津　晏奈　（二俣小学校５年）

初めてできんちょうしたけどがんばってやれたのでよかったです。ありがとうございました。

大地ゆう子　（二俣小学校４年）

[illegible]

市川　紗妃　（光明小学校５年）

[illegible]楽しかったです

平出　美駒　（二俣小学校５年）

[illegible]

原田　七海　（二俣小学校５年）

大阪公演
楽しかったです。

加藤　友茉　（光明小学校６年）

大阪公演楽しかったです。
とても良い思い出になりました。ありがとうございました。

川坂　萌　（光明小学校６年）

上手におどれて
よかったです。

澤口　奈々　（光明小学校６年）

大阪公演楽しか
たです。

鈴木　彩音　（光明小学校６年）

[illegible]

山下　紗奈　（光明小学校６年）

大阪公演最高！
またやりたいです。

池田なつみ　（二俣小学校６年）

大阪公演
楽しかったです。
また、次があったら参加するので
その時よろしくね

遠藤　愛理　（光が丘中学校１年）

今回の大阪公演をたくさん学ぶことができました。
本当に楽しかったです。
ありがとうございました。

細井　祐子　（光が丘中学校２年）

[illegible]♡
ありがとうございました!!

吉林　摩耶　（浜名高校１年）

ミュージカル出演者

まだとまっていない
夢・挑戦・実現
でもがんばる

北内　一圭　（清竜中学校１年）

ミュージカル
最高！

安間穂乃佳　（清竜中学校１年）

光岡来未菜　（二俣小学校４年）

小倉　麻琴　（鏡山小学校５年）

みんなに
ありがとう！

岡　みちる　（清竜中学校１年）

公演をやるたびに宗一郎さんの事が大好きになっていきました。私も宗一郎さんのように夢に向かってがんばりたいです。
ありがとうございました。

大乗　咲子　（熊小学校５年）

ありがとうございました

櫻井　優珠　（中瀬小学校５年）

鈴木　杏理　（清竜中学校１年）

金田　彩　（熊小学校５年）

本田宗一郎物語をやるのは、初めてでしたのでいい経験になりました。またやりたいです

田中　香那　（光明小学校６年）

本当に
ありがとう
ございました。
とても
楽しかったです。

西田　愛　（清竜中学校１年）

Thanks!

平賀　建渡　（光が丘中学校２年）

ありがとう

北内　花実　（浜松海の星高校１年）

光岡香菜子　（清竜中学校３年）

この舞台に携わっていただいた
すべての方に感謝しています★
ありがとうございました

三室　輝佳　（浜松海の星高校２年）

何回やっても
SOICHIRO物語
最高です!!
ありがとうございました!!

大石　愛　（北浜東部中学校３年）

梅林　佳美　（浜松海の星高校２年）

山田　歩　（高台中学校１年）

アイシテル

佐藤　希望　（天竜林業高校１年）

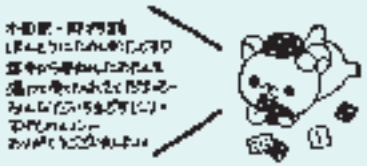
超 感謝です!
ありがとう
ございました

大角真名人　（清竜中学校２年）

山田　愛　（浜名高校１年）

HONDA★
DAISUKI♥

川村　美帆　（浜松市立高校２年）



長谷川未来　（浜松学芸高校２年）

初めて本田のミュージカルに
参加した私をみんなおもしろく
で優しくて工夫の仕方でする
ONE

生田奈未季　（浜北西高校３年）

寺田亜矢子　（一　般）

鈴木　裕子　（一　般）

村井　教子　（一　般）

ありがとう
ございました。

山田美由貴　（一　般）

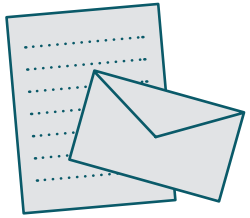
大澤　恵美　（一　般）

人見ても良い　人見ても善い
「我は咲くなり」
ありがとうございました。

今田　史隆　（一　般）

不慣れなミュージカル
でしたが、"やらまいか
精神"で頑張りました。

黄楊　直彦　（一　般）



感想文＋さちさんへの手紙

光明小学校5年　市川　紗妃

わたしは、今年、はじめて「本田そういちろう物語」に参加しました。姉がやったのはみたことがあるけど、自分がやるのは、はじめてでした。

さいしょは、自分がちゃんとできるか、心配だったけど、本番では、まちがえずにちゃんとできたので、よかったです。

なんかいもなんかいも先生におこられたりしてくるしい時もあったけど、あきらめなくてよかったです。

本田さちさん、本当にありがとうございました。大阪こうえん、ぶじおわってよかったです。

本田さんがのこしてくれた、「試す人になろう」の言葉のように、これからも、あきらめないでちょうせんしていきたいです。

二俣小学校6年　池田なつみ

本田宗一郎さん、さちさんありがとうございました。私はダンスを担当しています。大阪公演の本番、きん張でメイクの時も頭の中でダンスを思い浮かべるほどでした。なぜなら今回ミュージカルでのダンスの曲が一曲増え、三日前に完成したばかりだったのです。リハーサルの時もおどりが小さくなってしまいミュージカルの人達は元気がいいのに自分たちは元気がないように見えてしまいました。でも、一緒におどる友達と「こうした方が良いよ。」と話し合いました。本番では先生やみんなにほめてもらうことができました。とても気持ち良くて楽しい思い出になりました。

本田テクニカルカレッジでは、みんな元気良くあいさつしてくれてやさしく、ていねいに教えてくれました。F1のエンジンの音は今までに聞いたことのない大きな音で、すごくびっくりして、興奮しました。

お楽しみ会では、とてもおいしい料理がいっぱいでました。終わりごろミュージカルの音楽が流れてきて、みんなといっしょにおどれました。もうこれで、このダンスはやらないのかなーと思うと少しさびしくなりました。またみんなとおどれたらうれしいです。

さちさん、とても楽しい公演をありがとうございました。

光が丘中学校2年　細井　祐子

今回で3回目の参加となります。

龍水の都・ミュージカルとも新メンバーにての参加です。私は一番小さい立場から上級生の立場となり今までとは違う気持ちで参加させていただきました。

ダンスを教えてもらう立場が逆転したため人に教える難かしさを感じながら充実した練習期間を過ごしました。

3回目にして初めて周りの人たちの大変さを感じ舞台に立たせていただけるという感謝の気持ちがいっぱいでした。

こんな貴重な体験を毎年させていただける幸せを忘れず日々いろんな事にチャレンジしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

熊小学校5年　大桒　咲子

別府、埼玉、大阪と、３回の公演。一回目の別府はまだ小学3年生だったので、兄や姉のミュージカルを見に行きました。本で読んだ「本田宗一郎物語」とまたひと味ちがい、宗一郎の少年時代にすいこまれてしまうような感動を味わいました。

2回目の埼玉は、今度はミュージカルの一員として参加しました。歌やダンスを覚えるのに必死で、間ちがってはいけないというきん張を、ずっと感じていました。

3回目の大阪は、前回より少しよゆうを持って楽しめた気がします。やる度に、本田宗一郎さんを「すごい人だなあ」と思うのと同時に、「宗一郎さんは天竜の人だ！」というほこらしい気持ちが強くなっていきます。

公演が終わりまくがおりた時の気持ち良さは、わすれられません。

さちさん、こんなすてきな機会をあたえて下さって、本当にありがとうございました。

熊小学校5年　金田　　彩

今年も、こんなにすばらしい公演をありがとうございました。まさか、大阪公演ができるなんて、夢にも思いませんでした。

大阪狭山市文化会館のあんなに大きな舞台は、見るのでさえ初めてで、すごくきんちょうしました。けれど、このメンバーであんなに素敵な舞台をつくれたことは、きっと、私の一生の思い出になると思います。

チェイサーが終わった時のあの大きなはく手……
「宗一郎！」と叫ぶ声……「ピーピー」という口笛……どれもまだ、私の心の中に残っています。

たったの一日の出来事が、こんなに良い思い出になるなんて、すごくうれしいです。

私達の尊敬する、本田宗一郎さんのミュージカルができて、とても楽しかったです。これも、優しく教えてくださった先生方、私達のために、いろいろな事をいつもいつもしてくださったスタッフのみなさん、そして何より、この公演ができたのは、本田さちさんのおかげだと思っています。みなさん、本当にありがとうございました。

中瀬小学校5年　櫻井　優珠

今回、大阪公演をさせていただき、ありがとうございました。チェイサーが終わった時のたくさんの拍手やかん声は、今でも忘れられません。お客さんのそのかん声を聞き、とてもうれしかったです。これまでの練習の成果が十分に発揮できたと思います。

また、本田学園を見学させていただき、ありがとうございました。関東に引き続き、関西の本田学園を見学できて、良かったです。本田学園の学生さんとすれちがうと、気持ちの良いあいさつをしてくれて、うれしかったです。また、貴重なF1のエンジン音を聞くことができて良かったです。

私が、「SOICHIRO物語」のなかで、一番心に残っているエピソードは、宗一郎さんが、片道20キロ、往復40キロもある浜松まで、一人で自転車をこいで行ったところです。どんなに飛行機が見たいという気持ちがあっても、自転車でいくことは、なかなかできません。飛行機に、そんなに夢中になれる本田さんは、すごいと思います。

ご指導をしてくださった先生方や、機会をあたえてくださったさち様に心から感謝しています。また、スタッフのみなさん、本当にありがとうございました。

清竜中学校1年　北内　一圭

ぼくは、本田宗一郎物語、埼玉公演につづき、大阪公演と、「チビ宗一郎」役をやらせてもらいました。

「チビ宗一郎」役は、もうほぼ主役で、歌はソロが多いし、セリフもすごく多いです。

そんな役を、埼玉公演では、素人のぼくがやることになり、とても不安でした。

しかし、今回の大阪公演は、2回目なのでそれほど不安はありませんでした。が、練習のときに、問題がおこりました。声変わりが始まったのです。いままで出ていた高い声が出なくなってしまい、大阪公演も、一気に不安になりました。

だけど、先生の指導もあって、なんとか無事公演を終わらせることができました。

最後に、練習の指導をして下さった先生方、一緒に「本田宗一郎物語」をやったみんな、そして「本田宗一郎物語」大阪公演を実現して下さった本田さちさん、本当にありがとうございました。

清竜中学校1年　岡みちる

今回、大阪公演を企画していただき、本当にありがとうございました。父方の祖父母が大阪に住んでいるので、見に来てもらうことができました。特に祖母が喜んでくれました。公演が終わって楽屋裏に寄ってくれたとき、ずっと飛び跳ねていたいほど嬉しい気持ちと、感謝の気持ちでいっぱいでした。

今回の「宗一郎物語」は、以前のものより歌や踊りが2曲ふえました。2曲とも気持ちが乗りやすく、大好きな曲です。2曲のうち、1曲を踊ることができて、すごく嬉しい気持ちでした。踊りも歌も精一杯取り組むことができ、満足することができました。

さちさんに見ていただけなくて、残念でしたが、来年5月にはまた、天竜の壬生ホールで公演しますので、見にいらしてください。

公演以外にホンダテクニカルカレッジ関西を見学させていただき、ありがとうございました。

F1のエンジンの音を聞かせてもらった時、生まれて初めてで、すごくびっく

りしました。そして、胸がわくわくし、言葉では言い表せない気持ちで満たされました。びっくりするけれど、もう1回聞きたいと思いました。このようなことを感じたとき、本田宗一郎さんも、こんな感じで車を作りたくなったのかなと、少し本田さんに近づいたような気がしました。本田さんのいろいろなことに触れることができ、良かったなと思います。

今年は新型インフルエンザが大流行していますので、気をつけてください。これから涼しく寒くなってきますので、おからだを大切にお過ごしください。

浜松市立高台中学校1年　山田　　歩

ぼくは『本田宗一郎物語』の舞台は、昨年の埼玉公演に続き、2回目です。ミュージカルを始めて、まだ2年ちょっとなのに本当にたくさんの経験をさせてもらいました。前回と同じ『幸次』役をやらせてもらいましたが、中学になり、部活の練習や試合と重なってミュージカルの練習を休まなければならない時もありました。練習以外の時間の使い方に気をつけて、頑張ることが出来ました。去年は初めてだったので、緊張しましたが、今回はせりふの意味などを少し考えてやることが出来ました。本番の舞台でも失敗せず、楽しく出来たので良かったと思います。

ホンダ学園の見学では、先生がとても分かりやすく熱心に学校のことを説明してくださいました。ありがとうございました。一生懸命自分の好きなことを頑張っている人はかっこいいなと思いました。ぼくもミュージカルが大好きです。歌ったり踊ったりすることは本当に楽しいです。嫌なことがあった時でも、歌っていると気分が晴れて、また頑張ろうという気持ちになれます。歌って楽しいなと思います。ミュージカルは自分が楽しいだけではなく、たくさんの人に夢や喜びや思いを伝えていけるものだと思います。「ミユージカルが好き」という気持ちを大切にして、続けていきたいと思います。

大阪公演というプレゼントを下さった本田さちさん。本当にありがとうございました。そして舞台を支えてくださった方々に感謝したいと思います。

清竜中学校2年　大角真名人

今回で「本田宗一郎物語」は、5度目の公演となりました。僕は去年から、本田宗一郎少年役を降り、他の役をやらせてもらっていました。特に今年は、門番や自動車の運転手などの大人の役をやらせてもらいました。大人の役は子供の役とは違った表現をしなければならないので、とても難しく、貴重な体験となりました。また、今回は観光も充実していました。鈴鹿サーキットや海遊館など、とても楽しむことができました。

最後になりますが、いつもこのような機会をあたえて下さる本田さち様、ならびにホンダの皆様、ミュージカルスタッフの皆様、心よりお礼申し上げます。さち様、いつまでも末永くお元気でいて下さい。本当にありがとうございました。

光が丘中学校2年　平賀　建渡

「さぁ、やらまいか」

埼玉に行き、終わってからのなごりが残る中、今度は大阪に行くと聞いたので、5回目かぁという気持ちと一緒にメチャクチャうれしい気持ちが溢れんばかりでした。

しかも今度は新しい曲が2曲入って、更にその中の1曲が、自分が出るという事だったので、心配な気持ちと、サイコーな気持ちがゴチャゴチャして、こわれそうでした。練習はとても楽しく、毎日やっててもきっとあきなかっただろうと思いました。そしてあっという間に大阪に出発の日が来て本当にあっという間だったと思いました。

出発した時は、遊ぶ事だけに頭がいっぱいでしたが、大阪に向かっていくにつれて、本番のことしか頭に浮かんできませんでした。

リハーサルの時に、新曲で使うニンジンをいきなり渡されたのでパニクってしまいましたが、本番ではうまくできたと思いました。（スベったけど…）

失敗は0でした！終わってしまった時は、すごくさびしかったです。特にチェイサーの時の「宗一郎〜！」というのがすごくウケました。打ちあげもものすごくハジけれました。

とにかく、すごく楽しかったです。まあ多少心残りがありましたが、本当に良い体験になりました。ミュージカルはとても楽しい！ただそれだけの一言です。年代の若い人から○○な人まで集まり楽しくでき、とても貴重な体験ができます。すばらしいとしか言えません。本当に、ミュージカルの皆さん、スタッフのみなさん、三人の先生、そして本田さち様、ありがとうございました。

これからも、本田さんから受け継いだやらまいか魂でがんばっていきたいです。

さぁ、やらまいか！

浜名高校　1年　山田　　愛

別府公演・そして昨年の埼玉公演、引き続き大阪公演が実現するとは思っていませんでした。先生から話を聞いた時「本当?」という驚きとうれしい気持ちでいっぱいになりました。このような大きな経験をさせていただき、本田さち様に心から感謝致します。ありがとうございました。

高校生になって、勉強が結構厳しくなりました。宿題も多いし分からない問題につまずいたりして、気持ちが下向きになってしまうことがあります。でもミュージカルで歌ったり踊ったりしていると嫌なことを忘れます。ミュージカルの練習は私にとって本当に楽しい時間です。練習では、学校とはまた違う出会いもあって、ミュージカルの友達と話していると、物の見方も変わって新鮮です。こういう人との出会いを大切にしたいと思います。今回の公演は曲も増えて、ダンスや芝居もバージョンアップしました。難しいフリが入ると大変ですが、気持ちはワクワクします。やりきった時はとてもうれしいです。1回、練習に行けなかった時に、かなり振り付けが進んでいた時は、とてもあせりました。でもみんながあき時間を使って振り付けを教えてくれたり、練習に付き合ってくれて本当にうれしかったです。何回も自主練習もして、本番では楽しく踊ることが出来ました。みんなで舞台を創っていることを実感しました。本当にありがとうございました。

公演に向けて本田宗一郎顕彰会の皆様、実行委員の皆様が準備をしてくださいました。ありがとうございました。

最後に、さち様のご健康をお祈りしています。

浜松海の星高校2年　三室　輝佳

一昨年、昨年に続きさちさんのご好意により大阪でミュージカルを演じることができると知らされ、申し込みをしてメンバーの一人として参加することができました。

メンバーといっしょに過ごしたミュージカルの練習は、とても楽しく有意義な時間でした。

本番の2公演とも、心からの笑顔で楽しく舞台に立つことができました。自分なりに精一杯演じることができたと思っています。

私達の舞台をご覧になったホンダ学園や大阪狭山市の皆さんに、本田宗一郎さんのことを少しでも知ってもらうことができたのではないかと思っています。

今回の公演の日程のなかで、ホンダ学園の見学、海遊館や鈴鹿サーキットまで行かせていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

ただひとつ残念だったのは、公演会場にさちさんがいらっしゃらなかったことです。

私は、これまでの貴重な体験をこれで終わらせるのではなく、これからの人生のなかで苦しいことに直面したとき、本田宗一郎さんのことやミュージカルのことを思い出してそれらを乗り越えて夢に向って歩んでいきたいと思います。

さちさん、本当にありがとうございました。

これからもどうぞお元気でお過ごし下さい。

最後に、私達を支えてくれた芹澤先生をはじめ多くのスタッフの方々にありがとうのお礼を言いたいと思います。

浜松海の星高校2年　梅林　佳美

私は、大分、埼玉、にひき続き宗一郎役をやらせていただきました。前回の埼玉公演では本田テクニカルカレッジの人たちが迎えてくれて、とても良い公演になりました。

今年の大阪公演も多くの人に迎えていただきたくさんの拍手をもらうことができました。私たちは、4月から練習をしてきました。新しく加わったメンバーもいて、アンサンブルの子たちや、後ろのコーラスの人たちがとてもユニークで、前回とはひと味違った本田宗一郎物語ができたと思います。それから、今回の宗一郎物語は一人一人が色々考えて、みんなで良い作品をつくっていけたことが、私にとって嬉しいことでした。芹沢先生を始めとして、歌の指導をしてくださった関先生や山本先生や、一緒に舞台に立った仲間に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、さちさん、スタッフのみなさんありがとうございました。

浜松市立高校2年　川村　美帆

「試す人になれ」この言葉は本田さんが残した言葉の一つです。私はこの言葉を見るといつも頑張らなければならないんだと初心に戻ることができます。落ち込んでしまったときは思い出して前に進むことができます。人に勇気を与えてくれる本田さんのミュージカル地方公演は今年で3年を迎えました。私は今年もこ

のミュージカルに参加することができて、とても光栄でした。私は2年目になりますが、いつこのミュージカルをやってもワクワクします。それは本田さんの人生が楽しかったからだと思います。私も本田さんが経験したような人生を送ってみたいと毎回思います。

私は本田宗一郎ミュージカルをやっていて自分はとても幸せだなぁと感じています。小学校4年生からミュージカルを始めて、どんどんミュージカルが好きになりました。

その大好きなミュージカルを大勢の方々に観ていただけるなんて夢にも思いませんでした。それは本田さち様や本田関係者のみな様に支援していただいたおかげです。ありがとうございました。本当に感謝申し上げます。次は来年に公演する本田宗一郎記念館設立、記念公演に向けて頑張りたいと思います。

私は今、高校2年生です。自分の夢を叶えるためいろいろなところで頑張らなければなりません。本田さんが残した「試す人になれ」をモットーに、どんな困難なことでも乗り越えていきます。そして必ず夢を実現したいと思います。

さちさんもお体に気をつけてお過ごしください。HONDA大好きです。

浜松学芸高校2年　長谷川未来

今回、「ミュージカル『本田宗一郎物語』大阪公演」に出演できたことに、本当に感謝しています。

元々私は壬生の生徒ではなかったので、芹沢先生に声を掛けていただかなかったら、この舞台には立っていませんでした。はじめのうちはあまりみんなと打ち解けられず、その場に居づらいこともありましたが、今ではもうみんなが大好きで、レッスンが楽しみで楽しみで仕方ないくらいです。

『本田宗一郎物語』のミュージカルを通して、本田さんの生涯を知っていく上で考えさせられることはいくつもありました。何事にも進んで挑戦していく好奇心旺盛な性格は見習いたいと思いましたし、何よりも夢に向かって努力し続ける姿は、素敵だと思いました。そして私は、本田さん本人だけでなく、本田さんを陰で支えた方達の姿も素晴らしいと感じました。幼少の本田さんを見守る父と母。お互いに高め合える友人。そして、奥さんであるさちさん。今私たちがここにいられるのも、さちさんのお力添えがあってのことです。本田さんが亡くなってしまった今、本田さんの精神を引き継ぐことができるのは、私たちだと思います。次があるかどうかは分かりませんが、ミュージカルを通して、本田さんの力強い生き様を伝えていくことができたら良いと思います。

大阪にある大きな舞台で公演を行うには、たくさんの人の支えが必要でした。指導者の先生方、スタッフの皆様、衣装係のお母さん方、出演者のみなさん、本当にありがとうございました。

そしてさちさん。私たちにミュージカルで表現する場を与えてくださり、本当に感謝しています。お体には気を付けて、元気にお過ごしください。近い将来会える日を楽しみにしています。

浜北西高校3年　生田奈未季

私は別府、埼玉の本田宗一郎のミュージカルには参加していませんでした。なので今回初めて本田宗一郎のミュージカルに参加させていただいて、みんなと仲良くなれるか、うまくやっていけるかなど不安なことが多く、最初はミュージカルの練習のときは携帯をいじってばかりでだらしもなかったので最悪な印象だったと思います。でも何回か練習に行くうちに、みんなとても一生懸命で本田宗一郎のミュージカルというものを、よりよくするために一人一人が頑張っていて、ミュージカルは一人でも真面目にやっていなかったりやる気がないと成り立たないものだと思いました。私は出番も少なくセリフも少なくみんなで踊るところしか舞台に出ることがなかったので最初は気をぬいてただやっているだけでした。でも自分のせいでせっかくみんなが頑張ってきたミュージカルをだめにしたくないと思い、少ない出番だったけどその中でも自分がやれることを精一杯やろうと思いました。

そしていよいよ大阪公演の日がきました。広いホールでとても緊張したけど、せっかく観に来てくれているお客さんや周りのみんなのために頑張って、みんなも一生懸命やっていて無事、午前も午後も成功させることができてとても嬉しかったです。ワッシュワ隊はすごく楽しかったです。大阪も楽しむことができたので良かったです。本田宗一郎のミュージカルを通して私は、みんなで協力して一つのものをつくるという素晴らしさを感じることができました。また年齢も全然違っても人と人は仲良くなれるんだなあと思いました。人の暖かさや、周りの人の大切さを知ることができました。まだまだ未熟でだらしない私ですが、自分なりにまたミュージカルを頑張っていこうと思いました。みんなありがとう🥹♡。

一般　寺田亜矢子

一昨年の別府公演・昨年の埼玉公演に引き続き、大阪公演という素敵なプレゼントをしていただき、3年間とても貴重な体験をすることが出来ました。誠にありがとうございます。

今年はホンダテクニカルカレッジ関西の学校見学をさせていただきました。新型インフルエンザの流行により休んでいる学生さんもいると伺いましたが、そんな中、私達大人数の見学を受け入れてくださり、本当に有り難いことだと思います。又、見学で心に残るものの一つとしてF1のエンジンをかけてくださったことがあります。エンジン回転数が9000回転・16000回転となった時、すごく大きな音に思わず耳をふさいでしまいました。ミュージカルの曲「メカニックの歌」に♪耳をつんざくエンジン音　鼓動が高鳴る♪とあります。まさにそれでした。初めて目の前でエンジン音を聞くことが出来、なかなか出来ない体験に感動しました。私は「メカニックの歌」を踊っていたので、実体験することで、今まで以上に力の入った踊りになったのではと思います。多くの方々に公演を観ていただき、本当に嬉しく思います。

今回は鈴鹿サーキットにも寄らせていただき、初めてレーシングコースを見ることが出来ました。何台ものF1マシンが走る姿は迫力満点だろうと思います。次回はレースを観に来てみたいと思いました。

大好きな天竜の仲間たちと、また素敵な思い出がたくさん出来ました。どんな言葉で感謝の気持ちを伝えたらいいのかわからない程、さち様には感謝の気持ちでいっぱいです。

今回も総合司会を務めさせていただきました。さち様の御名前を呼び、お客様にご紹介出来ず残念ではありましたが、またお目にかかれる日が来ることを願っています。

くれぐれもご自愛下さい。

一般　山田美由貴

別府公演・そして昨年の埼玉公演、引き続き今回このような大きな、大きな機会をくださった本田さち様に心から感謝致します。ありがとうございました。そして公演に向けて本田宗一郎顕彰会の皆様、実行委員の皆様が長期に渡り、たくさんの準備を重ねてくださいました。ありがとうございました。

一つの舞台を創っていく時、私達は本当にたくさんの人に支えられ、繋がっているのだと感じています。一人が頑張っても舞台は創れません。それぞれが今出来ることをきっちりやり切る事だと思います。一生懸命な仲間達に出会えて本当に幸せだなと思います。何よりの財産は、おばちゃま軍団と出会えたことだと思います。大人になってからミュージカルを始めた人たちばかりです。でも皆個性的なキャラで役に成りきり、本番ではもちろん練習でも輝いていました。台詞や動きダンスと本当に研究熱心で、次回への練習までに家でもきっと練習しているのだろという姿が分かりました。尊敬の連続でした。大阪公演という長期の日程に向けても残る家族のために、夕食のストックを作ったり、日程表を書いて貼ったりと妻と母の役割もきちんとやって集まっているのです。本当に素敵な女性達です。衣装係りのお母様たちにも本当に感謝です。細やかな気配りと心遣い。工夫に富んだアイデァと縁の下に徹しようとする奥ゆかしさは、見習うべき魅力的な大人達です。その仲間の端っこに入れてもらえて本当にうれしいです。私も心豊かな女性になりたいなと思います。でも女性達を魅力的にしているのは、家族の理解や協力のおかげですね。パパ感謝しています。子ども達はどんどん吸収して輝いていきます。本当に成長が早いと思います。それを見守る私を含めての、愛すべき親馬鹿チャンリン達。それぞれの家族・出演者・委員の皆様・あこがれの作曲の裕治先生、笑顔の素敵な関先生・スタッフクルー・そして大好き芹沢先生があっての『チーム壬生』（ごめんなさい。勝手な命名ですが）です。皆様に心から感謝です。ありがとうございました。

最後に『チーム壬生』を大きな心で認めて、応援くださる本田さち様、さち様のお心をまっすぐ伝えて下って、いつも温かな言葉をかけてくださった津田様のお幸せとご健康をお祈りしています。本当にありがとうございました。

宗一郎物語大阪公演記念CD

01	オーバーチュア〜宗一郎ソロA	3:33
02	メカニックの歌	2:14
03	宗一郎ソロB	2:05
04	いとしい幸せ	2:42
05	ナレーション1	1:20
06	俺の好きなもの	1:44
07	ハンコ事件の歌	3:32
08	よくみてみよう	2:22
09	飛行機みたいな	2:34
10	闇を行け	4:08
11	見たぞ飛行機	1:43
12	ナレーション2	1:13
13	父と母の歌	2:46
14	ナレーション3	1:32
15	憧れ	2:25
16	自動車登場〜宗一郎の決意	3:46
17	すごいぞ自動車	2:41
18	ナレーション4	1:11
19	親父の歌	1:44
20	やらまいか	3:42
21	チェイサー	3:07

作詞　芹沢 文子　　作・編曲　山本 裕治

Special Thanks　関　彰子（歌唱指導）
松井 みか（ピアノ）

01

宗一郎ソロA

ここに一つの夢がある 輝くひとみがある
どうかどうか持ち続けてほしい
夢の扉たたくまで
明日のことを語れぬ奴に希望はわいてこない
いつもいつも忘れないでほしい
確かに夢があったことを

02

メカニックの歌

耳をつんざくエンジン音 鼓動が高鳴る
嵐のような歓声受けて 僕らのマシン火をふく
アクセル全開ドライバー マシンを操る
タイヤをきしませスーパードライブ
でもピットの中では僕らがヒーロー

メカニック なんてかっこいい響き
メカニック そうさ僕らの夢のせて

チェッカーフラッグ受けて輝くマシン
歓喜の輪の中ウィニングラン
どうだやったぜ僕らのマシン

＜間奏＞

チェッカーフラッグ受けて輝くマシン
歓喜の輪の中ウィニングラン
どうだやったぜ僕らのマシン
やっぱり最高僕らのマシン

03

宗一郎ソロB

ここに一つの夢がある 輝くひとみがある
いつもいつも忘れないでほしい
確かに夢があったことを

君たちはもう知っているだろう
何かを作る喜びを
君たちはもう知っているだろう
夢中になれる素晴らしさを

きっと明日は君たちを待ってる
きっと未来は君たちの中
きっと明日は君たちを待ってる
きっと未来は君たちの中

04
いとしい幸せ

緑の森奥深く 小さき子ら歌ってる
ここにいるよと歌ってる
澄んだひとみを持つという
小さき子らの歌声は
今日も地上に舞い降りる

小さな星のまたたきに見守られ
やわらかな風にそっとふれ
ゆるやかな時の流れは
小さき子らの 心はぐくむ

今は何もわからなくても
いつかきっとわかるだろう
今は何もわからなくても
ただ受け止めるだけでいい
いとしい幸せを

06
俺の好きなもの

俺の好きなもの 俺の好きなもの
「そりゃ川さ」
飛び込む もぐる 魚釣る
飛び込む もぐる 魚釣る

俺の好きなもの 俺の好きなもの
「山も大好きだぜ」
虫とり 探検 山すべり
虫とり 探検 山すべり

学校抜け出しエッサッサー
授業サボッて最高さ
「でもな、俺、逃げてるだけだよな。
山も川も大好きだけど、これでいいのかなぁ。」

俺の好きな川 俺の好きな山
俺の好きなもの 俺の好きなもの
俺の好きな 天竜 みんな好きな 天竜

07
ハンコ事件の歌

やった明日から夏休み
山行く川行くどこへ行く
夏の祭りでワッショイ！ワッショイ！
花火も太鼓もドンドドン
遊びまくって日が暮れて
朝が来たってまた休み

喜代次「っとその前に」

甲乙丙丁 甲乙丙丁 甲乙丙丁 甲乙丙丁
どうするどうする通信簿「丙！」
ゆううつゆううつ通信簿「丙！」
母ちゃんにみせたら夕飯抜きだ
父ちゃんにみせたらゲンコツ飛ぶぞ
でもみせなきゃハンコがハンコがもらえない
みせなきゃ休みが休みが始まらない

宗一郎 「そうだ、俺にいい考えがある」
幸　次 「いい考えって？」
喜代次 「何だよ宗ちゃん？」

作りゃいいのさハンコを
作りゃいいのさハンコをな
幸　次 「作るってどうやって？」
俺んち自転車屋 使える物があるだろう
君んち自転車屋 使える物があるでしょう
要らないチューブをちょっと拝借
小さくハサミで切り取って
ここから腕のみせどころ
名前を彫るのさ 彫刻刀で
ゆっくり ゆっくり ゆっくり ゆっくり
ゆっくり ゆっくり ゆっくり ゆっくり
しっかり しっかり しっかり しっかり
しっかり しっかり しっかり しっかり

宗一郎 「ハイできあがり！」
喜代次 「すごいや宗ちゃん」
幸　次 「これで明日から思う存分遊べるぞ」

やった明日から夏休み
山行く川行くどこへ行く
夏の祭りでワッショイ！ワッショイ！
花火も太鼓もドンドドン
遊びまくって日が暮れて
朝が来たってまた休み

やった明日から夏休み
夏の子どもがあふれだす
夏の子どもがあふれだす

08
よくみてみよう

鳥はどうして飛べるのか
自転車どうして動くのか
知ってるようで知らないこと
僕らのまわり あふれてる
どうしてなんだ なぜだろう
よくみてみよう 考えなくちゃ

空がどうして青いのか
雨はどこから降ってくる
知ってるようで知らないこと
見ているだけじゃ わからない
どうしてなんだ なぜだろう
よくみてみよう 考えなくちゃ

僕の心はいつも求めてる
僕のひとみはいつも探してる

興味津々よく見てふれて
音がするかも においはどうだ
よくみてみよう よくみてみよう
考えなくちゃ かんがえなくちゃ

そうさ僕らはいつだって
自由な自由な探求者
そうさ僕らはいつだって
自由な自由な探求者

09
飛行機見たいな

おーい宗ちゃん知ってるかい
おーい宗ちゃん知ってるかい
すっげぇーんだぜ
とにかくすっげぇーんだぜ

驚くなよ 驚けよ
驚くなよ 驚けよ

宗一郎「どっちだよー」

腰抜かすな 腰抜かすぞ
腰抜かすな 腰抜かすぞ

宗一郎「だからどっちだよー」
喜代次「アメリカから飛行機が浜松に来て、
幸　次「宙返りやらなんやら曲乗りのショーって
　　やつをやるらしいぜ」
宗一郎「ホントか？飛行機が来るのか？」

見たいな 見たいな 空飛ぶ飛行機
行きたいな 行きたいな 飛行機ショー
見たいな 見たいな 空飛ぶ飛行機
行きたいな 行きたいな 飛行機ショー
飛行機が見たい

10
闇を行け

行かなくちゃ行かなくちゃ
この闇の先に

「闇は深いぞ気をつけろ」
「風は強いぞ気を抜くな」

風を切れ 風を切れ
この想い乗せて

この気持ち　「つきあげろ熱い想い」
抑えきれない「走り始めた」
長い道　　「長い道」

＜間奏＞

見てみたい 見てみたい
この自分の目で

「目に映るもの それ何だ」
「手に触れるもの それ何だ」

触りたい 触りたい
この自分の手で

明日はすぐそこ「明日はすぐそこ」
もう夜が明ける「もう夜が明ける」
明日はすぐそこ
もう夜が明ける「もう夜が明ける」
もう夜が明ける「明日はすぐそこ」
明日はすぐそこ
明日はすぐそこ
明日はすぐそこ

13
父と母の歌

少し危なっかしくても
ちょっといきすぎていても
きっと前を向いて歩いているから
信じてあげよう自分の子

握りこぶしが震える
叱りたい気持ちを抑えて
彼と向き合って話を聞こう
信じてあげよう自分の子

知らないこと知るよろこび
憧れを目の前に
幾千の言葉並べるより
幾枚の写真飾るより
きっと心育つはず

今日あの子が見つけた何か
小さな小さな芽を出す日まで
見守ってあげる
見守り続ける
自分の子だから
自分の子だから
自分の子だから
自分の子宝

15
憧れ

憧れは心の中 ふつふつと湧き上がる
夢見る俺たちの未来 鮮やかに彩って

人に出会う事 本物を見る事
夢を抱く事 未来を信じる事
ぼんやりとした 景色の中
はっきりと光り放つ

憧れのその先には きっとある確かなもの
明るい俺たちの未来 いつかこの手につかむ
きっとこの手でつかむ
憧れは心の中

16
自動車登場～宗一郎の決意

おーい大変だ 自動車が来るぞ
自動車 自動車 自動車 自動車
自動車がくるぞ

おーい宗ちゃん 自動車が来るぞ
自動車 自動車 自動車 自動車
本物が来るぞ

どこだ どこだ どこだ 自動車は
まだか まだか まだか 自動車は
どこだ どこだ どこだ 自動車は
来るぞ 来るぞ 来るぞ 自動車が

どけ どけ どけ どけ とっととどけ
どけ どけ どけ どけ とっととどけ
自動車様のお通りだ 自動車様のお通りだ

どけ どけ どけ どけ とっととどけ
どけ どけ どけ どけ とっととどけ
そうさ俺が自動車様だ

真っ黒ボディーに ぴかぴかタイヤ
四角い顔のボンネットには まぁるいライトがキラッ
エンジンうならせ ほこりをまき上げ
デコボコ道でもなんのその
そうさ俺が自動車様だ
そうさ俺が自動車様だ

おーい道あけろ おーい道あけろ
おーい道あけろ 小僧道あけろ

出逢ってしまった この衝撃
こみ上げてくる この喜び
体がしびれ洪水の中 放り出された気分

「これが自動車か！」
これが自動車 これが自動車 これが自動車
これが自動車 これが自動車 これが自動車
心の霞がはれる 体の中から湧き上がる

そうだ そうだ これなんだ
やっと やっと やっと見つけた
そうだ そうだ これなんだ
これだ これだ 自動車だ

17 すごいぞ自動車

凄いぞ凄いぞ自動車は
リヤカー自転車かすんでく
凄いら凄いら自動車は
ビュンビュン走ってかっこいい

教えて教えて 自動車の事
どうやって動くの どうして走るの

まずはパーツを見てみよう
アメリカ製のこの車
部品の名前はイングリッシュ
しっかり覚えてイングリッシュ

ハンドルはこれ 右も左も好きな方
ゆっくりまわそう 急なハンドル事故のもと

クラッチ踏んで ギア入れる
ロゥからセカンド サードでトップ
アクセルぐんとふかしたら
外の景色がビュンビュン飛ぶよ
ヘッドライトをつけたなら
暗い夜道もへっちゃらさ
ハンドル ブレーキ アクセル クラッチ
フロント リアの タイヤにエンジン

きらめく言葉に 僕はクラクラ
魔法をかけられ 夢の中にいる様さ

凄いぞ凄いぞ自動車は
リヤカー自転車かすんでく
凄いら凄いら自動車は
ビュンビュン走ってかっこいい

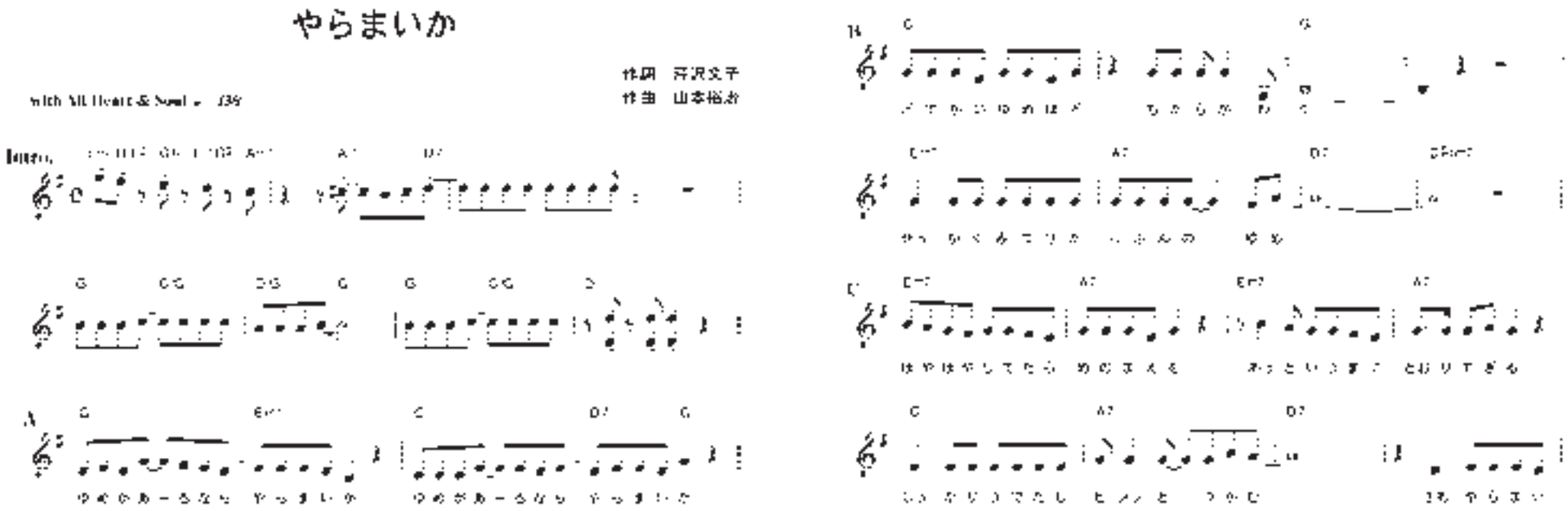
知りたい知りたい 自動車の事
どうやって動くか どうして走るか

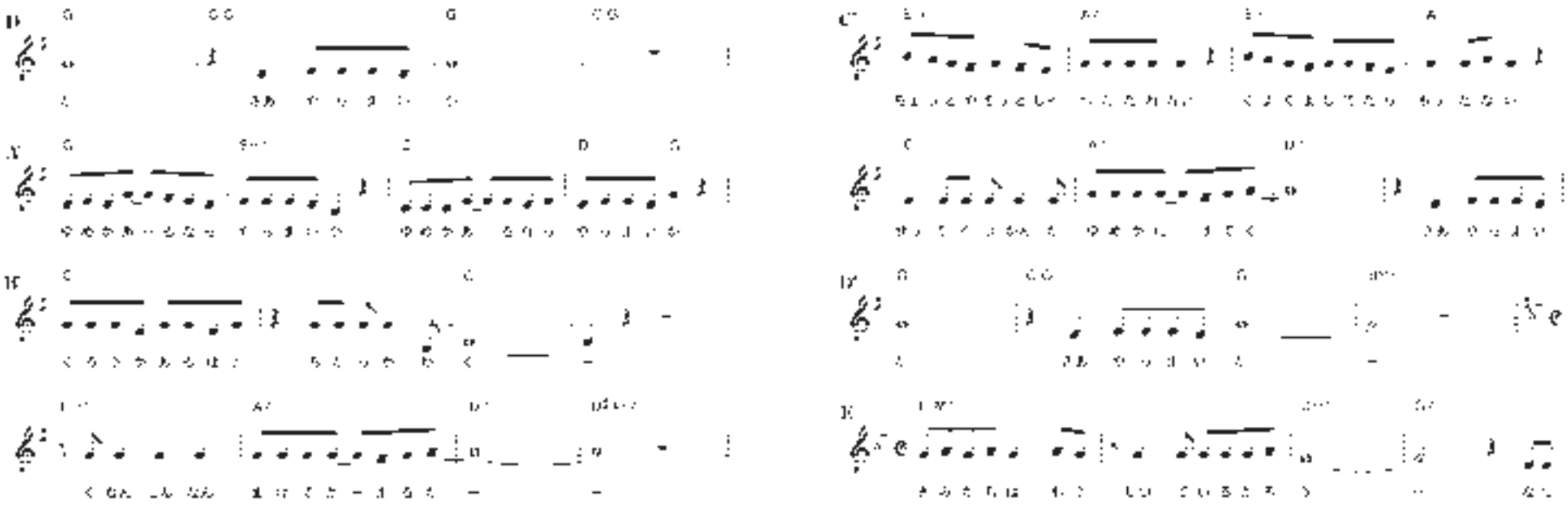
19 親父の歌

仕事する親父の背中が教えてくれた
挑戦する前に決してあきらめるな
仕事する親父のこぶしが教えてくれた
本物を作るため時間を惜しむな

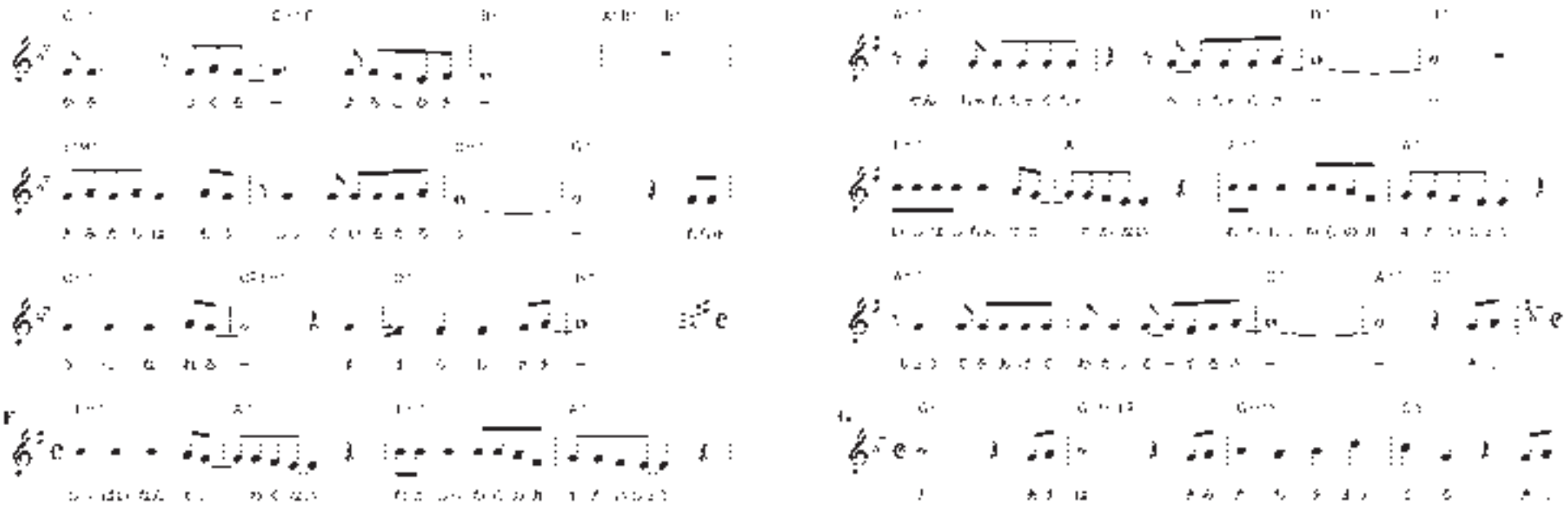
たとえ多くを語らなくても
その背中がそのこぶしが俺を励ます
たとえ遠くに離れていても
心に焼きつく親父の姿

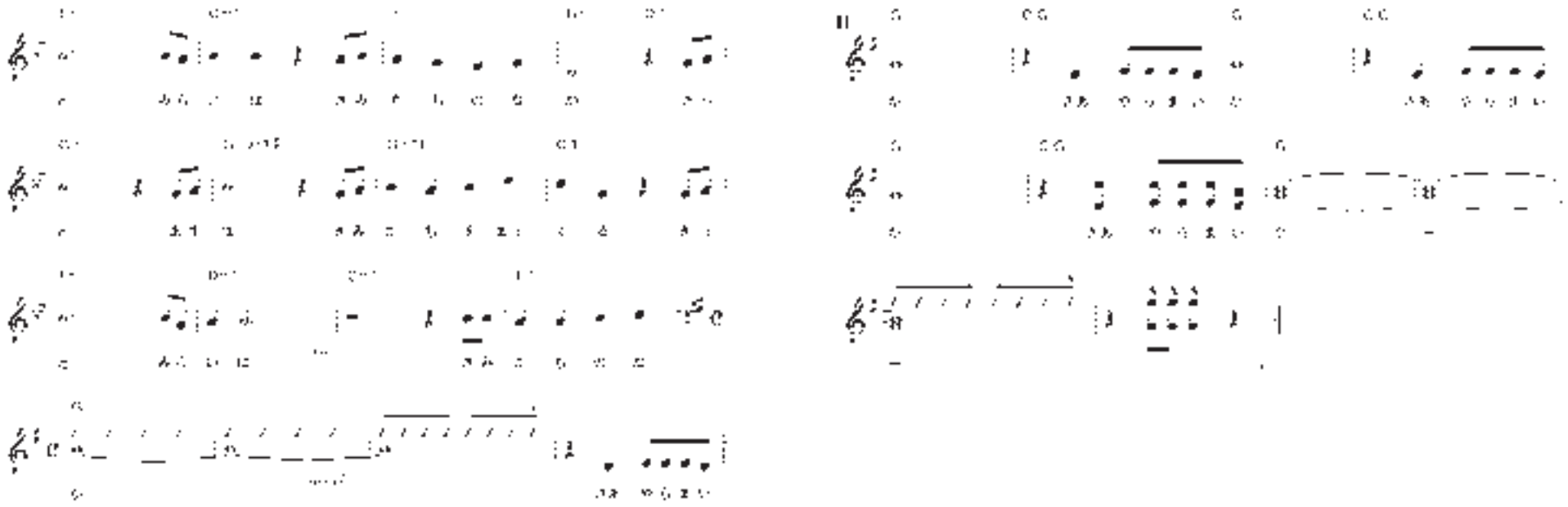
ありがとう今日まで ありがとう親父
ありがとう今日まで
俺の 俺の 俺の誇りさ


やらまいか
作詞　芹沢文子
作曲　山本裕之



HONDA





やらまいか

＜ミュージカル「本田宗一郎物語」テーマ曲＞
作詞：芹沢 文子 作曲：山本 裕治

♪夢があるならやらまいか　夢があるならやらまいか
どでかい夢ほど　力が沸く　せっかく見つけた自分の夢
ぼやぼやしてたら目の前を　あっというまに通り過ぎる
しっかり腕出しビシッとつかむ　さあやらまいか　さあやらまいか

♪夢があるならやらまいか　夢があるならやらまいか
苦労があるほど　力が沸く　苦難、困難負けてたまるか
ちょっとやそっとじゃへこたれない　くよくよしてたらもったない
せっかくつかんだ夢が逃げてく　さあやらまいか　さあやらまいか

♪君たちはもう知っているだろう　何かを創る喜びを
君たちはもう知っているだろう　夢中になれる素晴らしさを

♪失敗なんて怖くない　昔っからのガキ大将
やんちゃむちゃくちゃ　へっちゃらさ
石橋なんて叩かない　昔っからのガキ大将
両手を上げて渡ってやるさ

♪きっと明日は　君たちを待っている　きっと未来は　君たちの中
きっと明日は　君たちを待っている　きっと未来は　君たちの中

♪さあやらまいか　さあやらまいか　さあやらまいか　さあやらまいか

編　集　後　記

「ミュージカル『本田宗一郎物語』大阪公演 Dreams For Tomorrow」の発刊に際しまして、本田さち様のご厚意に感謝するとともに、多くの方々に寄稿していただき誠にありがとうございました。

この「ミュージカル『本田宗一郎物語』大阪公演 Dreams For Tomorrow」は、子どもたちが明日に向かって夢を語って欲しいとの願いから作成し、困難に遭遇した時もこの冊子から一連の貴重な体験・舞台での感動・励まし合ったことなどを思い起こし、これからの人生に活かしてもらいたいとの思いを込めました。

ミュージカル「本田宗一郎物語」は、子どもたちがミュージカルを通して、地域社会に目を向けるきっかけを作るとともに、偉人の生き方を学ぶ中から豊かな人間性を培って欲しい、そんな思いから平成 16 年度に計画したものです。

公演は、平成 17 年 11 月にプレ公演を、平成 18 年 11 月の「本田宗一郎生誕 100 年記念事業」では、本公演を開催することができました。その後、本田さちさんのご厚意により、平成 19 年 7 月に大分県の B-CON PLAZA において「本田宗一郎生誕 100 年記念別府公演」、平成 20 年 9 月に埼玉県の川越市市民会館において「本田宗一郎生誕記念埼玉公演」、平成 21 年 8 月に大阪府の大阪狭山市文化会館においてミュージカル「本田宗一郎物語」大阪公演を開催することができました。

参加した子どもたちは、学校・学年の枠を超えて、時にはぶつかり合い、時には励まし合いながら、ひとつの舞台を創り上げました。

最後に、公演でご尽力をいただきました学校法人ホンダ学園、NPO 法人 本田宗一郎夢未来想造倶楽部、脚本・演出・演技歌唱指導の芹沢文子先生、作・編曲の山本裕治先生、ダンス指導の太田良子先生、歌唱指導の関彰子先生、演奏家の松井みか先生、舞台監督の酒匂正博他 JTS スタッフ様、保護者の皆様並びに運営スタッフなど多くの方に深く感謝を申し上げます。

「龍水の都」文化体験プログラム
実行委員会事務局　笹竹 和行
尾畑 佳志

Tenryu

Beppu

Saitama

Osaka

本田宗一郎 生誕記念 ― Dreams For Tomorrow ―

発　行　日　　平成21年12月22日
編 集 発 行　　「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会事務局
編 集 委 員　　笹竹 和行　尾畑 佳志
印　　刷　　杉森印刷株式会社